

令和2年度 学校関係者評価結果 (令和3年3月実施)

JCHO東京山手メディカルセンター附属看護専門学校

JCHO看護専門学校の自己評価表に基づき自己点検・自己評価を実施した結果に基づき、学校関係者評価を実施しました。その際、2020年度重点目標について実施・結果・評価について報告し助言を受けました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、評価委員の基にそれぞれ郵送し、結果を説明する方法で実施いたしました。

1) 実施日時

日時2021年 3月15日～

2) 学校関係者委員

西山由紀子: 東京医療保健大学 教員

佐々木陽子: JR東京総合病院高等看護学園教頭

3) 結果



【評価尺度】 0:当てはまらない 1:一部当てはまる 2:概ね当てはまる 3:十分当てはまる

4) 重点取り組み目標について

1. 2022年度(R4年度)4月～新カリキュラム開始に向けての取り組み

1) 検討最終段階。教員全員で共通認識しながら進める。

- ・地域・在宅看護論の学習内容、実習方法について。
 - ・臨床判断能力育成のための科目、内容と学習方法について
- 上記を含め学科進度、など全体調整を実施した。

2) 看護師養成所指定規則の法令に準じて申請が滞りなく行えるよう準備する。

2. I 教育理念理念・教育目的

教育目標の設定と評価についての取り組み

「卒業生の特性」について、学生がわかりやすいように学年ごとの目標を示す。また、どのように評価をしているのかを明確にしていく。

3. II 教育課程

教員の指導体制の整備についての取り組み

- 1) 教育の専門性を高めるための、研究日を設定し自己研鑽できる環境を整える。
- 2) ラダーに沿って新任教員の支援に当たる。

4. IV 組織・管理体制

組織体制 災害など非常時の危機管理体制の整備について取り組み

- 1) 年に一度の防災訓練の継続とともに、訓練内容の見直しをする。
- 2) 大規模災害、自然災害に備え、マニュアルの見直し、整備をする。

5. V 入学・卒業・就職・進学

広報活動への取り組み

- 1) 感染対策を兼ね合わせた学校見学、オープンキャンパスの実施、オンライン交流会をして、一人でも多くの出願者を獲得出来るよう取り組んだ。
- 2) ホームページの閲覧を機会に受験に至る学生が多いため、定期的にフェイスブック、動画のサイトの更新をした。

6. X その他. 新型コロナウイルス感染症対策について

- 1) 遠隔授業、課題学習、分散グループワーク、など様々な講義方法を実施した。
- 2) 感染予防ができる環境づくり、学習補償を継続して実施する。
- 3) 感染者を出さないよう、また、クラスターが発生しないように継続した支援をする。

助言を次年度の学校運営に活かし、より良い教育活動ができるようにいたします。